

基本方針の柱	取組事項	概要
(1) 人の生活圏への出没防止	被害防止対策の推進	市町村が実施する人の日常生活圏へのクマ出没時のパトロールや追払い等に係る経費を補助 【新規】
	人の生活圏へのクマの出没抑制に向けた環境整備の実施	市町村等が実施する侵入防止柵の設置や、追い払い活動、放任果樹伐採等に係る経費を補助
		県有施設周辺の刈り払いを実施 【新規】
		市町村等が実施する森林整備による緩衝帯の整備等に係る経費を補助 河川内の樹木の伐採・藪の刈り払い等を実施
	(2) 出没時の緊急対応	緊急銃猟への支援
クマ出没情報共有アプリの運用		県民がクマを目撃した地点を投稿、県内のクマの出没情報の閲覧が可能なアプリの運用
(3) クマ類個体群管理の強化	ゾーニング管理の推進	人の生活圏とクマの生息域を区分する「ゾーニング管理」推進のため、県ゾーニング管理計画及び市町村向けの計画作成ガイドラインを整備 【新規】
	個体数管理の推進	クマの個体数調整のための捕獲事業を実施（委託）
		市町村が実施する春季捕獲に従事する捕獲者への日当や保険料等の経費を補助 【新規】
有害捕獲、クマ特別対策への支援（農作物被害防止）	市町村等が実施する捕獲活動や農地周辺におけるクマの捕獲対策等を実施する経費を補助	

基本方針の柱	取組事項	概要
(4) 人材の育成・確保	ガバメントハンター等の配置・確保	野生動物に係る専門知識を有する専門人材を配置するとともに、狩猟免許を所持するガバメントハンターを配置し、野生動物の適正管理を実施 【新規】
		市町村が任用する緊急銃猟をはじめとする捕獲等に從事するガバメントハンターに係る経費を補助 【新規】
(5) 体制整備等	人身被害防止に向けた情報発信の強化	被害が増加する春季および秋季におけるCM放送やSNS等の各種広報を行うことによる注意喚起を実施
	緊急銃猟等の体制整備に係る支援	市町村が実施する体制整備のための訓練やマニュアル作成、必要な備品購入等に係る経費を補助 【新規】
	クマの行動分析・生態研究	ツキノワグマの個体数推定精度の向上や生息密度が出没に及ぼす影響の調査研究を実施
	クマ出没時の学校生活や登下校の安全確保に向けた取組	学校におけるクマ出没情報の把握に向けた市町村や警察等との連携、教職員・スクールガード等に対するクマ対策の研修会を実施

令和8年度当初関連予算（総額）	679百万円
令和7年度当初関連予算（総額）	457百万円
増減（R8当初-R7当初）	222百万円